

| 八戸工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和03年度 (2021年度) | 授業科目 | 地域計画学特論(9905) |
|---|---|---------------------------------|-------------------------|---------------------------------|---------------|
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0025 | | 科目区分 | 専門 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | |
| 開設学科 | 産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース | | 対象学年 | 専2 | |
| 開設期 | 前期 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 教員作成プリント | | | | |
| 担当教員 | 今野 恵喜 | | | | |
| 目的・到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土・地域・都市の現状を説明できる。 国土計画・広域計画の考え方を説明できる。 都市域と農山村域での計画や手法を説明できる。 計画策定に関連する基本的分析ができる。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | 我が国の国土・地域・都市の現状を説明でき、さらに、東北地域の現状についても説明できる。 | 我が国の国土・地域・都市の現状を説明できる。 | 我が国の国土・地域・都市の現状を説明できない。 | | |
| 評価項目2 | 国土計画・広域計画の考え方を説明でき、さらに、東北地域との関連についても説明できる。 | 国土計画・広域計画の考え方を説明できる。 | 国土計画・広域計画の考え方を説明できない。 | | |
| 評価項目3 | 都市域と農山村域での計画や手法を説明でき、さらに、東北地域についても説明できる。 | 都市域と農山村域での計画や手法を説明できる。 | 市域と農山村域での計画や手法を説明できない。 | | |
| 評価項目4 | 計画策定に関連する基本的分析ができ、さらに、応用面のアイデアをもてる。 | 計画策定に関連する基本的分析ができる。 | 計画策定に関連する基本的分析ができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| ディプロマポリシー DP3 ◎ 地域志向 ○ | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 地域計画は、一般的には国土計画以下のある一定の地域を対象としている。その地域について望ましい将来像を描き、これを実現するための体系化、総合化された施策群を中心とする過程を明らかにするものである。基本的な地域計画関連知識を習得し、計画策定に携われる技術者を育成することを目標とする。前期週2時間 | | | | |
| 授業の進め方と授業内容・方法 | 我が国の各種の計画を考える上で広く前提となる「我が国の国土・地域・都市の現状」について整理し、次に、その上位計画となる「国土計画・広域計画」について、その考え方の変遷に重点を置いて解説する。さらに、これらの状況から、都市域と農村域において、それぞれどのような課題や具体的計画、及び関連手法等が工夫されているのかについて「都市計画」、「農山村計画」でその全体像を示す。さらに加えて、「計画策定のための計量分析」についても触れる。東北地域を意識した講義にしたい。到達度試験70%、演習・レポート等を30%として評価を行い、総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。答えは採点后返却し、達成度を伝達する。 | | | | |
| 注意点 | 日常の新聞記事に着目していること。演習を行うので電卓は必ず持参する。 欠席した場合、後日担当教員を訪ね、指示を受けること。 自学自習は到達度試験、演習・レポートにて評価する。 | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容・方法 | 週ごとの到達目標 | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | 総説 | 授業内容や到達目標が説明できる。 | |
| | | 2週 | 我が国の国土・地域・都市の現状 | 我が国の国土・地域・都市の現状を説明できる。 | |
| | | 3週 | 国土計画・広域計画 | 国土計画・広域計画の考え方を説明できる。 | |
| | | 4週 | 都市計画 | 都市域での計画や手法を説明できる。 | |
| | | 5週 | 農山村計画 | 農山村域での計画や手法を説明できる。 | |
| | | 6週 | 計画策定のための計量分析 (人口関連) | 人口関連の予測手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 7週 | 計画策定のための計量分析 (地域分析) | 地域特性関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 8週 | 計画策定のための計量分析 (地域分析) | 地域間相互作用モデル関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 計画策定のための計量分析 (経済分析) | 地域の産業連関関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 10週 | 計画策定のための計量分析 (経済分析) | 費用便益分析関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 11週 | 計画策定のための計量分析 (土地利用関連) | 小売買物モデル関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 12週 | 計画策定のための計量分析 (土地利用関連) | 土地利用モデル関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 13週 | 計画策定のための計量分析 (その他) | ネットワーク分析関連の分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 14週 | 計画策定のための計量分析 (その他) | その他の計量分析手法を理解し、適用ができる。 | |
| | | 15週 | 期末試験 | 到達目標を満たす。 | |
| | | 16週 | 答案返却とまとめ | 正答を確認できる。 | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標 | | | | | |
| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |

| 評価割合 | | | | | | | |
|---------|------|--------------|------|----|---------|-----|-----|
| | 期末試験 | 演習・レポート 等 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 専門的能力 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |